

平成 19 年 9 月 3 日

各 位

神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目 5 番 14 号
株式会社 メディネット
代表取締役 CEO 木村佳司
(コード番号:2370 東証マザーズ)
問い合わせ先 経営企画部長 鈴木邦彦
電話番号 045(478)0041(代表)

メディネット、がんオーダーメイド医療の実現に向けた 免疫組織検査に関する業務提携を開始

株式会社メディネットは、平成 19 年 9 月 1 日付で、株式会社東京セントラルパソロジーラボラトリー(東京都八王子市、代表取締役社長:牧原 道明)と、免疫組織化学染色検査に関して業務提携契約を締結しましたのでお知らせいたします。患者個別の症例に適した免疫細胞療法の選択が可能となる免疫組織化学染色検査は、医療法人社団混志会 瀬田クリニックグループ(東京都世田谷区、理事長:後藤 重則)をはじめとする免疫細胞療法実施医療機関において、同月 18 日より順次受付が開始となります。

免疫組織化学染色検査は、手術によって患者から摘出されたがん組織の病理学的組織検査を行い、細胞の表面に発現する分子の一つである MHC クラス I 分子¹の発現状態を判別するもので、MHC クラス I 分子の発現状態に応じて、患者個別のがん組織に適した各種の免疫細胞療法を選択することが可能となります。具体的には、がん組織に MHC クラス I 分子が多量に発現している患者においては、患者体内でのがん細胞を特異的に攻撃する T リンパ球(CTL; 細胞傷害性 T リンパ球)の誘導が考えられることから、樹状細胞ワクチン療法等のがん特異的免疫細胞療法による治療効果が期待されます。一方、発現量が少ないがん患者においては、CD3-LAK 療法や新規技術としてサービス提供を予定している γ δ T 細胞療法をはじめとする活性化自己リンパ球療法等の非特異的免疫細胞療法を選択することで、治療効果が期待できます。

メディネットは、免疫組織化学染色検査を受けられるインフラを提供することで、患者それぞれの症例に適した、より効果的な治療提供の実現と、免疫細胞療法の普及拡大を図ってまいります。

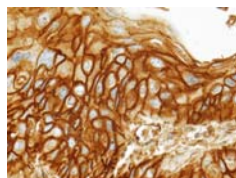
尚、本件の今期業績に与える影響は軽微であります。

1. 免疫組織化学染色検査の概要

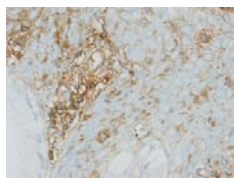
手術によって摘出されたがん組織の免疫組織化学染色検査により、がん細胞表面上の MHC クラス I 分子の発現状態を判別します。

【ご参考】免疫組織化学染色検査による、MHC クラス I 分子の染色症例

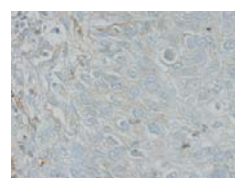
発現量の多い例



発現量の少ない例



未発現例



2. 免疫組織化学染色検査と特異的免疫細胞療法

免疫細胞療法のひとつである樹状細胞ワクチン療法は、患者の樹状細胞に、あらかじめ手術によって得られたがん組織から調製したがん抗原を取り込ませ、樹状細胞にがん細胞の目印を記憶させた上で体内に戻す治療法です。体内に戻された樹状細胞が、Tリンパ球にその情報を伝えることで、がんを特異的に攻撃する T リンパ球が体内で誘導されます。がんの目印を記憶した CTL(CTL;細胞傷害性 T リンパ球)は、がん細胞上に発現する MHC クラス I 分子を識別し、がん細胞のみを攻撃、殺傷します。

しかし、がん細胞の中には、このような免疫細胞による監視から逃れるために MHC クラス I 分子の発現量が低下していることが少なくありません。例えば、胃がんにおいては約 54%ⁱⁱ、非小細胞肺癌においては約 65%ⁱⁱⁱのケースにおいて、MHC クラス I 分子の発現量が低下、または発現していないという研究報告もあります。そのため、免疫組織化学染色検査によってがん細胞表面上の MHC クラス I 分子の発現状態を治療前に確認することが、免疫細胞療法を選択する際に有用といえます。

3. 免疫組織化学染色検査の申込

医療機関からの免疫組織化学染色検査に関するお問い合わせは、株式会社メディネット 学術部(045-478-0041)までお願いいたします。

患者からの免疫組織化学染色検査、免疫細胞療法に関するお問い合わせ、またはお近くの医療機関の照会につきましては、下記の瀬田クリニックグループ電話相談窓口でお受けします。

お問い合わせ先：
瀬田クリニックグループ電話相談窓口 0570-085-111
月曜～金曜 午前 10 時～午後 5 時

4. 株式会社東京セントラルパソロジーラボラトリーの概要

商号 : 株式会社東京セントラルパソロジーラボラトリー
本店所在地 : 東京都八王子市宇津木町 838 番 1 号
代表者 : 代表取締役社長 牧原 道明
設立年月 : 昭和 57 年 6 月 5 日
主な事業内容 : 登録衛生検査所
病理学的検査の受託(組織学的検査、細胞学的検査)
研究支援サービス
URL : <http://www.tcpl.co.jp/>

以 上

本件に関するお問い合わせ:

株式会社メディネット 広報グループ
神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-14
045-478-0041(代表)

-
- i MHC (MHC; Major Histocompatibility Complex、主要組織適合遺伝子複合体)クラス I 分子
有核細胞に現れる表面分子。がん抗原は、がん細胞表面上の MHC クラス I 分子を介して $\alpha \beta$ 型 T 細胞に提示され、抗原情報が伝達される。
- ii 「胃癌患者の HLA-B タイピングによるクラス I 遺伝子多型、及び癌組織における HLA クラス I 発現」(埼玉医科大学雑誌 第 28 巻第 2 号 別頁 埼玉医科大学第二外科教室 荻野 育貞)
- iii 「ヒト非小細胞肺癌における HLA class I 発現と臨床病理学的因子および腫瘍内浸潤 CD8T 細胞の関連性」(第 47 回肺癌学会総会 北海道大学医学部第一内科 菊池 英毅、山崎 浩一、札幌医科大学第一病理 鳥越 俊彦、他)